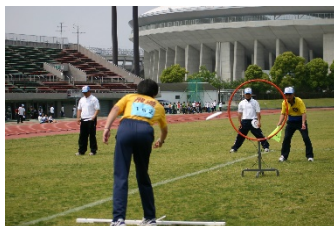


振り返ってみました～

ボランティア活動



2005年
大阪市スポーツ大会



2006年
ふれあい水泳



2014年
ジャパンパラ競技大会
水泳選手の受付



2015年
新年のつどい
羽子板コーナー

研修実技



2003年 水泳実技



2004年
ブラインドサッカー実技



2008年
アーチェリー実技



2015年
ゴールボール実技



2013年 スポーツいろいろカーニバル実技



2017年
手話を学ぼう会



2020年
ボッチャ実技

研修講義



2004年
テーピング講義と実技



2009年
障害区分(クラス分け)



2017年
疲労回復講座



2018年 ペップトーク

今まで行ってきた活動はこれだけではありません。基調講演においても貴重な内容が多かったです。2020年度は活動が制限され自粛の日々でしたが、これを機に競技規則等を見直すなどされてはいかがでしょうか。全国障害者スポーツ大会も、2019年「いきいき茨城ゆめ大会」が台風により中止、2020年「燃ゆる感動がごしま大会」は2013年に延期されます。6つ（陸上競技・水泳競技・アーチェリー・卓球・フライングディスク・ボウリング）の個人競技と7つ（車いすバスケット・グランドソフトボール・フットベースボール・バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・サッカー）の団体競技がありますが、2021年「三重とこわか大会」から個人競技にボッチャが追加され7競技になります。まずは身近な障がい者スポーツと関わり活動を行って行きましょう。

大阪障がい者スポーツ協議会も振り返れば、たくさんのボランティア活動・研修等々を行ってきました。時々には合わせ必要な技術、知識を学び障がい者スポーツに取り組んできました。

大阪障がい者スポーツ指導者協議会

協 議 会 だ よ り

編集・発行 大阪障がい者スポーツ指導者協議会 広報部 令和3年1月20日 第84号
<http://osaka-adspo.org/>

令和2年度は役員改選にあたり、長きにわたり会長を務めて頂いた松本会長から、鈴木新会長にバトンが渡されました。理事も含め新たな気持ちで取り組んでいきたいと思ひます。

会 長 挨 拶

会長 鈴木 光一

私は、令和2年度の役員改選におきまして、大阪障がい者スポーツ指導者協議会の会長に就任いたしました鈴木でございます。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会が開催できませんでした。会員の皆様に直接ご挨拶ができなかったことはとても残念でした。協議会だよりをお借りして一言ご挨拶を申し上げさせていただきます。

大阪障がい者スポーツ指導者協議会の名称には、府も市もついておりません。大阪の地域に関係する皆様で、障がい者スポーツと一緒に楽しめるかは、すべて仲間であり、すべて友達である、と考えています。各種競技会だけがスポーツではなく、日々の生活に溶け込んだ障がい者スポーツを、我々はもっと楽しむ権利があります。未来の子どもたちのためにも、障がい者スポーツを身近に体験できる場所、アスリートを育てる指導者など、さまざまな環境を整えることが大事になってきています。行政と一緒に必要なことを、考えていくことも大事です。ウィズコロナの時代を生き抜いていくためにも、これからの障がい者スポーツを、皆様と一緒に智慧をだして考えていきたいと思ひます。これからも大阪障がい者スポーツ指導協議会をよろしくお願いいたします。

会長退任の挨拶

松本 晃

平成3年に協議会の前身である大阪障がい者スポーツ指導者連絡会が設立され、当時の大阪市長居障がい者スポーツセンター指導員であった高橋明先生に誘われ、連絡会の役員になって早29年、38歳だった私も67歳・孫が4人います。

そもそも障がい者スポーツ指導に関わったキッカケはスキーでした。スキー指導員検定受験には、実地での指導実績が単位として必要なのですが、雪無し県の大阪では、指導できる機会がなかなか無く困っていた時に、大阪市障がい者スキー教室の指導員に欠員が出来たので、「行けませんか」と声がかかり、一も二もなく応募しました。それまで障がい者の方々と接する事は殆どなく、何もわからず参加したのですが、その時の経験が今の活動につながり、そして原動力ともなっていると思ひます。

スキー教室に参加されている方は障がいも人それぞれでしたが、脳性まひの人が痙攣する足で、きれいにターンされる姿に驚きと深い感銘を受けました。また初心者の方々が義足をつけて練習されるのですが、どうしてもすぐ疲れる彼女のため、いつでも休めるようサポートの指導員が風呂用のイスを持って一緒に滑っているのです。一人ひとりの参加者に合わせて創意工夫し熱心に指導している姿に感激と感動を覚えたことは、きのうのこのように思い出されます。

その時の感動があるからこそ、30年近く障がい者スポーツ指導員として活動してこれたのかなと思ひます。

令和2年3月31日をもって会長を退き相談役という立場になりましたが、これからも障がい者スポーツ指導に関わった当初の気持ちを忘れず皆さんと一緒に活動していきたいと思ひます、宜しくお願いいたします。

お知らせ

大阪障がい者スポーツ指導者協議会の会員の松浦直子さんが、2020年1月4日にご逝去されたことを家族様より連絡を頂きました。生前、ご本人は選手としてスポーツ大会等々に参加されたり、その他にも色々活動されていました。ご本人・家族様のご厚意により当協議会にご寄付を頂きました。大切に、今後の活動に使わせていただきます。ご逝去の報に接し、心からご冥福をお祈りいたします。

理事の紹介

《第3月曜日に理事会を開催し話し合いをしています》



副会長 中野 薫

副会長をさせて頂くことになりました中野と申します。

前任は研修部で18年、会計を4年間と22年間理事として、協議会の運営に携わってきました。

今後はこのような経験を活かして、皆様と元気で活気ある協議会にしていきたいと思ひます。また、障がい者スポーツの発展に少しでも力になれるよう、会員の皆様と一緒に歩んでいきたいです。



会計 兼田 理香

本来なら記念すべき年となっていたはずの2020年ですが、私達にとって大変厳しい試練を与えられた年となってしまいました。

しかし、必ず以前のように自由に活動できる日が来ると信じています。また皆さんと一緒に障がい者スポーツのお手伝いが出来ることを楽しみにしています。

本年度より会計を担当することになりました兼田です。よろしくお願いいたします。



企画部 栄徳 美沙季

大阪障がい者スポーツ指導者協議会で企画部として活動しております。

障がい者スポーツ指導者スキル向上を目指すとともに、「こんな活動があったらいいな。」「いろいろなボランティアに行ってみよう。」など指導者の皆様の声を聞きながら企画案を考えています。本年度はコロナ渦において、感染拡大防止の観点から活動ができておりませんでした。様々な方法を模索しながら皆様と活動が再開できることを楽しみにしております。



企画部 菅原 智彦

オリンピック・パラリンピックが2021年に伸びたので、パラリンピックの種目体験を通して広げていきたい。

ボッチャは審判を取りたい。風船バレー同様に健常者・障がい者が一緒に取り組めるスポーツ活動をしていきたい。スポーツ推進委員もしており、出来るだけ府障がい者スポーツ大会以外だけで参加するのではなく、全国障がい者スポーツ大会にも引率出来ればと思っております。



副会長 永島 久義

昭和39年（1964年）に東京パラリンピックが開催され、約半世紀後の今年に第2回目の夏季パラリンピックが実施されます。感染防止から、今年に大会延期となり、現時点でも不明確なところはありますが、

私達、障がい者スポーツ指導者にとって、大きな意味のある大会です。

今後パラリンピックの報道が増え、開催の実感が増してくると思ひます。この機運を生かし、当協議会の役員として会員の方々の活動支援に尽力させていただきます。これからもどうかよろしくお願いいたします。



令和2年10月 理事会の様子



企画部 福尾 ひさみ

障がい者スポーツと聞いて何を思ひ浮かべるだろうか。自分が習ってきたスイミングと何か違いがあるのだろうか。

私がその言葉を聞いて感じた思いでした。実際に障がい者スポーツに関わる中で、障がい特性に合わせルールや道具を工夫することで大きな違いがないと知りました。

障がい者スポーツを通じて、参加する全ての方が新しい発見や人との出会い、楽しみにつながると思ひます。今後も、障がい者スポーツへの理解、啓発につながるような働きかけをしていきます。



企画部 相原 繁樹

こんにちは、企画部の相原繁樹です。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、一年前には、いや、半年前にも想像もしていなかった世界が今、目の前に広がっている。行きたいと思ったときに、行きたい場所に行くこと。

会いたいと思ったときに、会いたい人に会うこと。これまで当たり前になっていたことが、実はとても幸せだったことだと気づかされる今日この頃です。メンバー、会員さんたちと接する機会も少なくなった。寂しさを感じつつ、それでも自分にできることを精一杯頑張っていこうと思ひます。よろしくお願いいたします。



事務局 久保 漣

今年度も事務局長のお仕事をさせていただきます 久保 漣（くぼ れん）です。犬とお酒を愛する47歳、動けるデブですが痛風になり家飲み自粛中です・・・

今年度は、新型コロナの影響で様々な障がい者スポーツ大会・イベントが中止になり、会員の皆さまの活躍の場が少ない1年でした。今後は、コロナと共存しながらの大会や研修の運営・開催方法やボランティアのあり方を、会員の皆さまの意見を反映させながら協議会として考えていかなければならないと思っております。

日障協をはじめ関係機関とも連携を取り、様々な情報を事務局から発信できるよう頑張りますので、ご指導ご鞭撻いただけますよう宜しくお願いいたします！！



研修部 福西 拓也

東京オリンピック・パラリンピックが延期になりましたが2021年に開催予定となり、また全国障がい者スポーツ大会ではボッチャ競技が正式種目になるなど、ますます障がい者スポーツが脚光を浴びる機会が増えてきています。

研修部では障がい者スポーツ指導員の皆様が、障がい・スポーツ・身体機能などの知識・技術を身につけ、指導現場で活用・活躍することができるように研修会を開催しますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



研修部 木村 華良

協議会の研修部員として従事し数年が経ちました。

年度を通して研修部運営の流れを経験し、新体制となった今私が考える抱負は、会員の望む研修会を開催したいということです。

すべての希望を叶えることは不可能ですが、『会員の声を聴く』姿勢を常に意識したいと思ひます。

具体的には、前年度、実施したアンケートの継続やデータ化、集計結果の公表など、理事の皆さんの今までのご経験を基にご助言を頂きながら、会員の為の活動を提案していきたいと思ひます。



広報部 植田 克彦

本協議に参加させていただいて早3年が過ぎました。

私自身は小学生より水泳を始め、中、高、大を通して水泳部に所属し競技者として、また、卒業後は、養護学校（現支援学校）に勤務し、休日は母校の水泳部の指導を、中学校への転勤後は水泳部のクラブ指導を続けて来ました。但し、ここ数年は勤務の関係でクラブ指導には離れていましたが、約30年（一財）大阪水泳協会及びジャパン・パラ等の障がい者の水泳競技会に競技役員として参加しています。これからは水泳にとられず色々な障がい者スポーツの指導者として挑戦していきたいと思ひます。



事務局 新川 豊美

昨年度末より始まったコロナ渦。当協議会も総会や研修会などが中止せざるを得ない今年度、理事会の開催も中止やオンラインなど混乱させられることばかりです。

本来なら、ボランティア募集の発送などを行い、会員の皆様にお知らせし、ご協力いただいているところですが、感染防止の観点からボランティア活動自体の募集がない状況です。コロナ渦が収まり、皆様にご協力いただける日が1日も早く来ることを願っています。それまで、皆様も健康に留意してお過ごしください。

私事ですぐ4月に勤務移動があり、参加できる日が少なく部長に頼ることばかりで申し訳ない次第ですが、協議会の活動に今後も協力できればと思ひますので、よろしくお祈りします。



事務局 松浦 秀明

今年度より、理事をさせていただきます松浦です。

事務局員で主にホームページを担当します。

理事をさせていただきますのは、スポーツ指導者連絡会の時ぶりとなり、久しぶりの復帰となります。ホームページを少しずつ改良していき、皆さんの活動に役立てられるようにしていきたいと思ひます。皆さん、何かあればご意見をいただければ幸いです。info@osaka-adspoo.orgにご連絡ください。よろしくお祈りします。



研修部 仲本 清文

協議会研修部の仲本です。

今年は役員改正がありましたが、引き続き研修部員として、部長を中心にみなさんのお役に立てればと思ひますので、今後ともどうぞよろしくお祈りいたします。

今年は新型コロナの影響で、様々な大会や研修会が中止になり、会員のみなさんの活動の場もなくなり残念な年になりました。来年には感染症対策をしっかりして、研修が開催できるように進めていきます。



広報部 松浦 春代

引き続き、広報を担当させていただきます。

2020年は思いもよらないコロナウイルスで、活動することが困難となりました。このような中で、どのような情報が提供できるのか初心に戻り模索していきたいと思ひます。会員の皆様が楽しみにして頂けるような広報紙作りを頑張りたいと思ひます。広報紙の原稿を依頼したときは、どうぞ快諾でお願いいたします。これからもよろしくお願い致します。